

【別紙1】 令和7年度福島市一般廃棄物処理基本計画の進行管理について

基本施策	具体的施策	実施計画 令和7年度	実施結果 令和7年度	実施結果 評価 令和7年度	実施計画 令和8年度
優先的な2R（リユース・リデュース）の推進	(1) 生活系ごみの2Rの推進				
	① 市内のごみ排出の現状をより詳細に分析し新たなごみ減量施策を実施するため、ICTを活用した市内地区別ごみ排出量調査及び地区別組成分析について、調査検討します。	【ごみ政策課】 引き続き「WOOMS」の本市導入に向けて財源確保を含め効果的な運用の検討を行う。	【ごみ政策課】 R6年度のふれあい訪問収集へのWOOMSの導入に向けて予算要求をし、財源を確保した。	【ごみ政策課】 導入に向けた予算を確保し、計画どおり具体的な取組を進めることができたことから、概ね順調に進捗している。今後は、実際の運用を見据え、導入に向けた具体的な運用方法等を検討し、効果的な活用につなげていく。	【ごみ政策課】 R6年11月からの導入に向け、本格的に着手する。
	② 家庭で余っている食品を地域のイベントなどに持ち寄り、それを必要としている福祉団体・施設等に寄付する「フードドライブ」活動について調査検討します。	【ごみ政策課】 こども政策課と連携したフードドライブを実施する。 【こども政策課】 子ども食堂運営支援のため引き続き企業等でのフードドライブの推進を図るほか、常設フードドライブを設置し、市民へフードドライブの利用を促し、意識形成を図る（物価高対策）。	【ごみ政策課】 こども政策課と連携したフードドライブを実施。 【こども政策課】 子ども食堂運営支援のため、フードドライブ推進事業を実施。 ・実施回数36回（企業内、環境フェスタ等イベント時など） ・回収実績3219.9kg（飲料、日用品を含む）	【ごみ政策課】 【こども政策課】 前年度と比較して実施回数、回収実績ともに増加。回収した食品等を子ども食堂の運営支援につなげることで、食品ロスの削減と子ども食堂への支援を図ることができたことから、順調に進捗している。	【ごみ政策課】 こども政策課と連携したフードドライブを実施する。 【こども政策課】 子ども食堂運営支援のため引き続き企業等でのフードドライブの推進を図るほか、常設フードドライブを設置し、市民へフードドライブの利用を促し、意識形成を図る（物価高対策）。
	③ 地域での循環型社会構築のため、リサイクルプラザでの再生品の市民への提供事業、不用品交換制度の広報に努め利用拡大を図るとともに、	【あらかわクリーンセンター】 広報力強化と、タイミングの良い広報に努める。 購入希望者の来館増加に努める。	【あらかわクリーンセンター】 来館者へのチラシ配布、環境フェスタでの展示、市政だより掲載やSNS発信など広報に努めた。	【あらかわクリーンセンター】 粗大ごみ再生品展示販売（環境フェスタでの展示を含む） ・自転車 販売台数 97台（申込者数3,527名）平均倍率29.40倍 ・家具類 “ 98台（ “ 1,032名） “ 10.04倍 ・即売品 “ 687台 今後更なるSNS発信や広報に努め周知を図っていきたい。	【あらかわクリーンセンター】 広報力強化及び適切なタイミングによる広報（館内掲示、市HPやSNS発信等）に努める。 展示レイアウトを工夫する等、購入希望者の来館増加に努める。
	子ども服のリユースなど、新たなリユース事業について調査検討します。	【ごみ政策課】 引き続き古着のイベント回収やリユースサイトの利用等の啓発を実施するほか、市民が気軽に利用できるリユース拠点の設置等について、検討を行う。	【ごみ政策課】 民間企業と連携し、古着のイベント回収を実施し衣類のリサイクルに努めた。 ・R7.11.22実施分：1,300kg ・R8.3.14実施分：1,000kg	【ごみ政策課】 回収実績は2,300kgとなり、前年度の3,350kgから減少。また、リユース拠点の設置等について具体的な検討まで至らなかったことから、古着のリユース促進や回収機会の確保に課題が残った。	【ごみ政策課】 引き続き古着のイベント回収やリユースサイトの利用等の啓発を実施するほか、市民が気軽に利用できるリユース拠点の設置等について、検討を行う。
	④ 絵本などリユース可能な本について、リサイクルショップ・古本屋等の利用を推進するほか、イベント回収などを実施します。	【ごみ政策課】 引き続き、民間事業者が運営するリユースサイトの紹介等、不要品のリユースを促すことで、市民の意識形成を図る。	【ごみ政策課】 リユースサイトを市HPやInstagramをはじめとする市SNSにて紹介することで、不要品のリユースの意識醸成を図った。また、民間企業と連携した古本のイベント回収を実施し、リサイクルの推進に努めた。 ・R7.11.22実施分 古紙：960kg ・R8.3.14実施分 古紙：630kg	【ごみ政策課】 SNS等を活用して情報発信を行い、周知を実施することができた。 また、古紙は6年度の990kgから1,590kgに増加し、回収量の増加が図られ、リサイクル促進に向けた取り組みとして一定の成果につながる取組となった。	【ごみ政策課】 引き続き、民間事業者が運営するリユースサイトの紹介等、不要品のリユースの促進、イベント回収を実施することで、市民の意識形成を図る。
	イベント回収などを実施します。	【ごみ政策課】 引き続き、民間事業者が運営するリユースサイトの紹介等、不要品のリユースをSNS等で積極的に情報発信し、市民の意識形成を図る。	【ごみ政策課】 民間企業と連携し、古着・古本紙のイベント回収を実施した。 ・R7.11.22実施分 古着：1,300kg、古紙：960kg ・R8.3.14実施分 古着：1,000kg、古紙：630kg	【ごみ政策課】 古紙は6年度の990kgから1,590kgに増加し、回収量の増加が図られた。一方、古着は6年度の3,350kgから2,300kgに減少しており、古着の回収促進に課題が残ることから、引き続きリユースを含めた不要品の有効活用に向けた取組が必要。	【ごみ政策課】 引き続き、民間事業者が運営するリユースサイトの紹介等、不要品のリユースをSNS等で積極的に情報発信し、市民の意識形成を図る。
	⑤ 陶器・ガラスなど家庭用食器類のリユース事業について調査検討します。	【ごみ政策課】 引き続き、民間事業者が運営するリユースサイトの紹介等、不要品のリユースをSNS等で積極的に情報発信し、市民の意識形成を図る。	【ごみ政策課】 市HPで民間事業者が運営するリユースサイトの紹介を行った。 ○ジモティー ・市内での取引依頼数 13,329品（前年比-106品） ・流入数 4,479 流入数＝市HPを経由してジモティーのホームページに流れた数 ○おいくら ・商品依頼数 624品（前年比+182） ・アクセス数（R7.4より） 2,680 アクセス数＝「福島×おいくら」専門ページの閲覧数。	【ごみ政策課】 ジモティーの市内取引依頼数は6年度から減少した一方、おいくらの商品依頼数は増加した。全体として一定の利用実績があり、不要品のリユースに関する情報発信を通じて、市民のリユース利用につなげることができた。	【ごみ政策課】 引き続き、民間事業者が運営するリユースサイトの紹介等、不要品のリユースをSNS等で積極的に情報発信し、市民の意識形成を図る。
	(2) 事業系ごみの2Rの推進				
	① 飲食店での食べ残し削減キャンペーン「おいしい食べきり2020運動」など、事業者と連携したごみ減量化、資源化に関する広報を強化します。	【ごみ政策課】 引き続き、市政だより、市HP他、随時タイムリーに広報を実施する。	【ごみ政策課】 冬季オリンピック開幕に合わせ情報発信を行うとともに、環境省が推進する宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーン「おいしい食べきり2020運動」として、市HP等で情報を発信した。 ・情報発信 （SNS：1回、さんあ～る内：1回）	【ごみ政策課】 SNS及び「さんあ～る」を活用して情報発信を行い、複数の媒体による周知を実施することができた。一方、6年度から情報発信回数は減少していることから、継続かつ効果的な情報発信が課題。	【ごみ政策課】 引き続き、市政だより、市HP、SNS、「さんあ～る」等を活用し、年末年始など外食の機会が増える時期と狙い、随時タイムリーに広報を実施する。

【別紙1】 令和7年度福島市一般廃棄物処理基本計画の進行管理について

基本施策	具体的施策	実施計画 令和7年度	実施結果 令和7年度	実施結果 評価 令和7年度	実施計画 令和8年度
優先的な2R（リユース・リデュース）の推進	事業者と連携したごみ減量化、資源化に関する広報を強化します。	【ごみ政策課】 事業所のごみの減量化、資源化の取り組みを市HPで紹介するとともに、セブンイレブンと連携し、市内各店舗に「てまえどり」ポップを掲示し、てまえどりを呼びかける。 また、引き続き「ふくしまタバスケ」を運用し、事業系食品ロスの削減に取り組む。	【ごみ政策課】 「3Rと食品ロス削減推進協力事業所・協力店」として、各事業所の取り組みを市HPで紹介した。・3Rと食品ロス削減推進協力事業所・協力店：8社 (変更なし) また、令和5年9月から開始した「ふくしまタバスケ」を引き続き実施し、事業系食品ロス削減を推進した。 ・ふくしまタバスケ協力店：26社（事業系食品ロス削減累計約2,469kg）	【ごみ政策課】 ふくしまタバスケを継続して実施し、約2,469kgの事業系食品ロス削減につながった。また、3Rと食品ロス削減推進協力事業所・協力店については、既存の協力事業所・協力店の取組を市ホームページで継続して紹介し、広く周知することができた。一方、協力事業所・協力店数は前年度から増加しておらず、さらなる協力事業所・協力店の拡大が課題である。	【ごみ政策課】 事業所のごみの減量化、資源化の取り組みを市HPで紹介するとともに、新たな協力事業所・協力店の拡大に向けた周知を行うほか、協力事業所・協力店と連携した新たな広報の手法を検討する。また、「ふくしまタバスケ」を引き続き実施し、協力店の利用促進や事業系食品ロスの削減を図る
	② 県と連携し、「もったいない！食べ残しゼロ推進運動」や「食べ残しゼロ協力店・事業所」認定等を推進します。	【ごみ政策課】 県を交えた県内市町村との意見交換等により他市事例の情報収集を行うとともに、県と連携した市内の飲食店への効果的な広報手段について協議する。	【ごみ政策課】 県を交えた県内市町村との意見交換を行い情報収集に努めた。また県事業のパフレットを市民の目に触れるカウンター等に設置したほか、市HPでも掲載し、広報に努めた。	【ごみ政策課】 県と連携した市内飲食店への効果的な広報手段については具体的な協議・検討ができなかったため、県と連携した飲食店への効果的な広報手段について具体的な協議・検討に至らなかった。今後の取組強化が課題。	【ごみ政策課】 県を交えた県内市町村との意見交換等により他市事例の情報収集を行うとともに、県と連携した市内の飲食店への効果的な広報手段について協議する。
	③ 市が率先してペーパーレスに取り組み、事業者に対する紙類減量化の啓発に努めます。	【全部署・環境政策課】 ・文書管理システムやBPRの更なる活用を図る。 ・裏紙利用、両面印刷、複数ページ印刷を徹底する。	【全部署・環境政策課】導入可能な所属において、文書管理システムやBPRの更なる活用を図り、一層のペーパーレスを図った。 ・電子化率：95.6%	【全部署・環境政策課】 電子化率は95.6%と高い水準に達しており、文書管理システムやBPRの活用によるペーパーレス化が着実に進んでいる。引き続き、紙での処理が残る業務の見直しを進め、更なる電子化を図る必要がある。	【全部署・環境政策課】 ・文書管理システムやBPRの更なる活用を図る。 ・裏紙利用、両面印刷、複数ページ印刷を徹底する。
	事業者に対する紙類減量化の啓発に努めます。	【ごみ政策課】 引き続き、事業系ごみの減量化・資源化の手引きを配布する。 また、紙類の排出が多い事業所に対しヒアリングを行いごみ削減の有効な手段について連携して検討する。	【ごみ政策課】 事業所のごみ減量化、資源化の手引きを配布し、啓発に努めた。 無作為に抽出した事業所に対しアンケートを実施し、事業所のごみ排出の傾向や取り組みを確認した。	【ごみ政策課】 アンケートを実施した結果を踏まえ、さらなるごみ減量化・資源化につなげるため、事業所ごとの排出状況に応じた具体的な働きかけが必要。	【ごみ政策課】 引き続き、事業系ごみの減量化・資源化の手引きを配布する。 また、アンケートの結果をもとに、排出量の多い紙類の削減にアプローチしたごみ削減の有効な手段について連携して検討する。
	④ ごみの減量を進めるためには製造段階からの対策が必要なことから、国や関係機関などに対し拡大生産者責任の徹底を要望します。	【ごみ政策課】 全国環境衛生・廃棄物関係課長会廃棄物関係北海道・東北ブロック会議を通して継続して要望するほか、東北市長会を通して要望活動を行う。	【ごみ政策課】 全国環境衛生・廃棄物関係課長会廃棄物関係北海道・東北ブロック会議を通して国等に継続して要望した。	【ごみ政策課】 国等への要望を継続して実施できた。今後も継続した要望活動を行い、国等への働きかけを強化する必要がある。	【ごみ政策課】 全国環境衛生・廃棄物関係課長会廃棄物関係北海道・東北ブロック会議を通して継続して要望するほか、東北市長会を通して要望活動を行う。
	⑤ 一定規模以上の事業用大規模建築物の所有者や多量排出事業者に対する、ごみ減量推進計画書の提出等の義務付けについて調査検討します。	【ごみ政策課】 事業系ごみの不法投棄対策に重点を置き、開封調査の実施により事業者の特定と指導を行い、適正排出に協力を求める。	【ごみ政策課】 令和7年3月より開封調査を実施した。また、商工会議所の広報誌で事業系ごみの集積所排出が不法投棄にあたるなどの広報を掲載し周知広報した。 ・「所報ふくしま」2026年2月号	【ごみ政策課】 開封調査の実施や商工会議所の広報誌でも周知を行うなど、事業系ごみの適正排出に向けた取組を着実に進めることで、集積所に出されるごみが半分以上になるなど、一定の成果を上げることができた。	【ごみ政策課】 引き続き、事業系ごみの不法投棄対策に重点を置き、開封調査の実施により事業者の特定と指導を行い、適正排出に協力を求める。
	⑥ 事業者独自の取り組みを促すため、優良事業者を評価する仕組みを検討します。	【ごみ政策課】 引き続き、商工会議所の広報誌を活用し、事業系ごみの適正排出を促すほか、ごみ減量に取り組んでいる事業者独自の取組を広く市民に紹介するなど、市の発信力を活かした広報を実施する。 ・「所報ふくしま」広報1回分	【ごみ政策課】 事業系ごみの集積所排出が不法投棄にあたるなどの広報を掲載し、事業者責任での適正処理を啓発した。 ・「所報ふくしま」2026年2月号	【ごみ政策課】 計画した広報を着実に実施することができた。一方で、広報のみの取り組みにとどまったため、事業者独自の取り組みの広がりをどのように展開していくかが課題。	【ごみ政策課】 事業系ごみの適正排出を促すため、ごみ減量に取り組んでいる事業者独自の取組を広く市民に紹介するなど、市の発信力を活かした広報を検討する。
	(3) ごみ減量の意識啓発と環境教育の推進				
	① ごみ排出の現状に理解を深めてもらうため、直近のごみ排出量や月別1人1日当たりのごみ排出量推移などのリアルタイム情報を市HP、SNS等により積極的に発信します。	【ごみ政策課】 SNS等を始めた情報発信ツールの積極的な活用を図る。 また、引き続き市政だより及び市HPに毎月のごみ排出量速報値を掲載し、前年度との比較を見せながら、減量意欲の向上に努める。	【ごみ政策課】 SNS、市政だより、市HPで毎月のごみ排出量速報値を前年度と比較しながら広報を行い、減量意欲の向上に努めた。	【ごみ政策課】 SNS、市政だより、市HPを活用して毎月のごみ排出量速報値を前年度と比較しながら発信し、計画した情報発信を継続して実施することができた。	【ごみ政策課】 SNS等を始めた情報発信ツールの積極的な活用を図る。 また、市政だより及び市HPに毎月のごみ排出量速報値を掲載し、前年度との比較を見せながら、減量意欲の向上に努める。
	② これまでの広報紙等での広報に加え、SNSや啓発動画配信等を積極的に行うとともに、市主催イベントや各大学の学園祭等各種イベントでの広報活動等に努めます。	【ごみ政策課】 SNSなどの広報媒体を活用し、啓発活動を継続するとともに、市政出前講座一覧表に出前講座動画のQRコードを掲載し、出前講座を直接受講できない市民に視聴を促す。	【ごみ政策課】 LINEやX、Instagramの広報媒体を活用し、市主催イベントやごみの出し方・減らし方、ショート動画の発信を行った。市政出前講座で生ごみ減量の手法であるキエーロや、分別リサイクルについて周知広報を行った。小学校を対象にごみの分別リサイクルの出前講座を実施し若年層のごみ減量、分別意識の醸成を図った。	【ごみ政策課】 SNSや動画、市政出前講座、小学校へ出前講座等を活用し、計画していた啓発活動を継続して実施できたことから、概ね順調に進捗している。今後も対象や媒体に応じた効果的な情報発信を進める。	【ごみ政策課】 SNSなどの広報媒体を活用し、啓発活動を継続する。 引き続き、市政出前講座一覧表に出前講座の動画のQRコードを載せてもらい、出前講座で対応できない市民の視聴を促す。
	③ 令和2年7月1日からのレジ袋有料化を含め、引き続きエコバックの使用等について推進します。	【環境政策課】 継続して実施する。	【環境政策課】 イベントにおいてエコバックの使用等を推進。	【環境政策課】 市ホームページにより広報を行い、ゼロカーボンの観点からもエコバックの使用等を推進することができた。	【環境政策課】 継続して実施する。
	④ 市HP等を活用し、ごみの減量化・資源化のアイデアや日ごろの取り組み等を募集し、市民への事例紹介やアイデアを活かした施策を実施します。	【ごみ政策課】 小中義務教育学校を対象に、食品ロス削減マスターを講師とした出前講座を実施し、小中義務教育生から家庭へごみ減量の取り組みを普及させる仕組みを構築することで、市民自らごみ減量に取り組む意識を定着させる。	【ごみ政策課】 ごみゼロの日にキエーロ実演会を実施したほか、マスターによる小学校での出前講座を2回開催、学習センターでの子ども向けエコクッキングに講師を派遣するなど、ごみ減量の取り組みの普及を図った。	【ごみ政策課】 キエーロ実演会や食品ロス削減マスターによる小学校での出前講座など、学校や地域での直接的な啓発を進め、計画した取組を実施できたことから、概ね順調に進めることができた。	【ごみ政策課】 小中義務教育学校を対象に、食品ロス削減マスターを講師とした出前講座を実施し、小中義務教育生から家庭へごみ減量の取り組みを普及させる仕組みを構築する。

【別紙1】 令和7年度福島市一般廃棄物処理基本計画の進行管理について

基本施策	具体的施策	実施計画 令和7年度	実施結果 令和7年度	実施結果 評価 令和7年度	実施計画 令和8年度
優先的な2R（リユース・リデュース）の推進	⑤ プラスチック類のごみ削減のため、マイボトルの利用を推進します。	【ごみ政策課】 市政だより、市HP他、随時広報を実施する。	【ごみ政策課】 市HPにてマイボトルの利用促進を呼びかけ、民間が取り進む事例紹介も行った。	【ごみ政策課】 計画した広報は実施したものの、広報手段が限定されていることから、利用促進に向けた周知の拡大が課題である。	【ごみ政策課】 市政だより、市HP他、随時広報を実施する。また、市職員が率先してマイボトルを利用するなど、職員の意識改革等を図り、取り組みの促進を図る。
	⑥ ごみ減量化、資源化モニター世帯を募集し、実際にごみの減量化、資源化に一定期間取り組んでいただいた結果を市HP等で紹介します。	【ごみ政策課】 小中義務教育学校を対象に、食品ロス削減マイスターを講師とした出前講座を実施し、小中義務教育生から家庭へごみ減量の取り組みを普及させる仕組みを構築する。	【ごみ政策課】 ごみゼロの日にキエーロ実演会を実施したほか、マイスターによる小学校での出前講座を2回開催、学習センターでの子ども向けエコクッキングに講師を派遣するなどし、ごみ減量の取り組みの普及を図った。その他：パネル展2回	【ごみ政策課】 学校や地域での普及啓発を進め、計画した取組を実施できたことから、概ね順調に進めることができた。	【ごみ政策課】 小中義務教育学校を対象に、食品ロス削減マイスターを講師とした出前講座を実施し、小中義務教育生から家庭へごみ減量の取り組みを普及させる仕組みを構築する。
	⑦ 生ごみの約8割は水分であることから、広報紙、SNS等を活用して水切りの徹底を呼び掛けるとともに、各種イベント等での普及啓発に取り組んでいます。	【ごみ政策課】 市政だより、市HP他、SNS等で随時広報の実施を継続する。市政出前講座や環境フェスタ、食品ロス削減パネル展等において、キエーロや生ごみ減量方法の紹介を行い、普及啓発を図る。	【ごみ政策課】 環境フェスタ、食品ロス削減パネル展、福島市民のくらし展等において、生ごみ減量方法の紹介を行い、普及啓発を図った。 市政出前講座や市HPで水切りなしで投入できる生ごみ処理容器キエーロの啓発を行い、ごみ減量意識の啓発を図った。 ・市政出前講座（生ごみが消える!?手軽に「キエーロ式コンポスト」で始めよう！家庭でできる生ごみの減量法）：12回（86/23回）	【ごみ政策課】 イベント等で生ごみ減量方法を紹介し、市政出前講座や市HPでキエーロの普及啓発を行った。一方、市政出前講座開催数は減少しており、普及啓発の機会の確保が課題。	【ごみ政策課】 市政だより、市HP他、SNS等で随時広報の実施を継続する。市政出前講座や環境フェスタ、食品ロス削減パネル展等において、キエーロや生ごみ減量方法の紹介を行い、普及啓発を図る。
	⑧ 各家庭における食品ロスの実態を把握するため、手付かずまたは食べ残しで食品を廃棄した場合、その種類、量、廃棄理由などを記録する「食品ロスダイアリー市民モニター」を募集します。	【ごみ政策課】 生活系資源にできない燃やすごみの内、約4割と一番割合の多い生ごみの中に含まれる食品ロスの実態の周知を図る。また、市HP等にて食品ロスダイアリーの記録を呼びかける。	【ごみ政策課】 市政だより10月号で食品ロス削減月間として、食品ロスの削減を呼びかけ、周知を図った。	【ごみ政策課】 食品ロス削減月間に市政だよりで周知を図ることはできたが、食品ロスの実態の周知や食品ロスダイアリーの活用など、計画した取組を十分に実施できず、課題が残った。	【ごみ政策課】 生活系資源にできない燃やすごみの内、約4割と一番割合の多い生ごみの中に含まれる食品ロスの実態の周知と、その削減の普及啓発を図る。
	⑨ 食品ロスが発生しない無駄のない買い方、上手な収納、エコレシビ（通常捨てられる野菜の皮や芯、作りすぎた料理などを使い、手軽に美味しい料理に変身させる料理方法）などの広報を行います。	【ごみ政策課】 認定した「食品ロス削減マイスター」に市政出前講座や料理教室などの活動に参加してもらい、地域からの食品ロスの意識啓発を図る。 また、引き続き食品ロスパネル展の実施やエコレシビの広報に努め、食品ロス削減を図る。	【ごみ政策課】 食品ロス削減マイスターを対象に講師養成講座を行った。また、マイスターによる小学校で出前講座を2回開催、学習センターでの子ども向けエコクッキングに講師を派遣し、ごみ減量の取り組みの普及を図った。 引き続き食品ロスパネル展を2回、市政だよりでエコレシビの掲載を8回行った。	【ごみ政策課】 食品ロス削減マイスターを対象とした講師養成講座や小学校での出前講座、子ども向けエコクッキングへの講師派遣、パネル展やエコレシビの広報を計画どおり実施でき、順調に進捗した。	【ごみ政策課】 認定した「食品ロス削減マイスター」に市政出前講座やエコクッキングなどの活動に参加してもらい、地域からの食品ロスの意識啓発を図る。 また、引き続き食品ロスパネル展の実施やエコレシビの広報に努め、食品ロス削減を図る。
	⑩ 市政出前講座、小中学校での出前講座を引き続き実施するとともに、受講者アンケートを実施し講座内容の充実をめします。	【ごみ政策課】 引き続き、アンケート等で受講者の声を聴き、講座内容の充実を図る。	【ごみ政策課】 市政出前講座を「生ごみが消える!?」「キエーロ」で始めよう生ごみゼロチャレンジ！」を実施し、非電動式生ごみ処理容器キエーロの普及啓発を図った。小学校を対象にごみの分別とリサイクルの出前講座を実施し若年層のごみ減量・分別意識の醸成を図った。 （市政出前講座：12回、小中義務教育学校出前講座（分別とリサイクル）：7回）	【ごみ政策課】 講座の実施回数が前年度から減少しており、受講機会の確保や受講者アンケートを活用した内容充実に課題が残った。	【ごみ政策課】 引き続き、アンケート等で受講者の声を聴き、講座内容の充実を図る。
	⑪ 地球温暖化対策として、各家庭でできる省エネ、省資源の取り組みを実践していただくため、実習を中心とした「もったいない学習会」を開催します。	【環境政策課】 各家庭でできる省エネ、省資源の取り組みを実践していただくため、E-Actふくしま連携を図りながら「ゼロカーボンアクション実践講座」（講義・実習）を開催する。	【環境政策課】 開催数：3回 参加人数：計159名	【環境政策課】 ゼロカーボンアクション実践講座は、計画どおり実施することができ、参加者が日々の暮らしでエコな工夫を取り入れる手助けができた。	【環境政策課】 継続して実施する。
	⑫ 小学4年生に配付の副読本「わたしたちの福島～福島市のかんきょう～」を活用した環境教育を行います。	【環境政策課・教育委員会】 継続して実施する。	【環境政策課】 環境ポータルサイトを活用し、環境教育の推進が図られた。 環境ポータルサイトアクセス数：75,986件 【教育委員会】 児童が所持する学習者用端末から市HPのデータに直接アクセスして閲覧できるように設定し、学校へ通知して活用を促した。（4年生児童数：約2,000人） また、各市立小・義務教育学校等へ見本として紙媒体の副読本を配布した。各学校宛（冊子） 160部	【環境政策課】 紙媒体による配布からオンラインデータによる配布を活用し、環境教育の推進が図られた。 【教育委員会】 全市立小・義務教育学校に、副読本のデータを送付して、活用を依頼した。また、児童の学習者用端末から市HPのデータに直接アクセスできるように設定し、いつでも閲覧できるようにした。（4年生児童数：約1,900人）	【環境政策課】 環境ポータルサイトや市公式SNSを活用し、市民への情報提供を継続していく。 【教育委員会】 継続して実施する。
	⑬ より多くの販売店に簡易・適正包装の拡大を要請し、製品の適正包装を推進します。	【ごみ政策課】 引き続き、市HPを活用し、事業者向けの広報を実施する。	【ごみ政策課】 市HPにおいて、簡易包装の推進について広報した。	【ごみ政策課】 市HPを活用し、事業者に向けて簡易包装の推進を計画どおり周知することができた一方、事業者の具体的な取組促進につながる内容の充実に課題が残った。	【ごみ政策課】 引き続き、市HPを活用し、事業者向けの広報を実施する。

【別紙1】 令和7年度福島市一般廃棄物処理基本計画の進行管理について

基本施策	具体的施策	実施計画 令和7年度	実施結果 令和7年度	実施結果 評価 令和7年度	実施計画 令和8年度
(ハ)優先的な2R(リデュース)の推進	事業者を通じて、従業員等へのごみ減量化・資源化に関する啓発に取り組みます。	【ごみ政策課】引き続き「ふくしまバスケ」を運用し、事業系ごみの減量化・資源化の啓発を行う。 引き続き、商工会議所の広報誌や食品営業許可継続講習会で事業者へごみの減量化、資源化について周知する。	【ごみ政策課】フードシェアリングサービス「ふくしまバスケ」事業を通じて事業者へごみの減量化、資源化の啓発を行った。 また、保健所主催の食品営業許可継続講習会に参加した事業者に対しごみの減量化、資源化について周知した。	【ごみ政策課】「ふくしまバスケ」や食品営業許可継続講習会等を通じて、事業者にごみの減量化・資源化を継続して周知することができたことから、概ね順調に進捗している。	【ごみ政策課】引き続き「ふくしまバスケ」を運用し、事業系ごみの減量化、資源化の啓発を行う。 引き続き、食品営業許可継続講習会で事業者へごみの減量化、資源化について周知する。
	(4)生活系ごみ処理の有料化と事業系ごみ処理手数料の見直しの検討				
	生活系ごみの減量化、資源化と排出量に応じた負担の公平性、ごみ問題に対する意識の向上を図るため、令和3年度のごみ排出量実績を踏まえて、ごみ処理有料化の導入について検討します。	【ごみ政策課】引き続き社会経済情勢を注視し導入時期について検討する。	【ごみ政策課】導入時期の検討を実施した結果、社会経済情勢を理由として引き続き有料化の導入は見送ることとした。	【ごみ政策課】導入に向けた具体的な進展には至らなかった。	【ごみ政策課】引き続き社会経済情勢を注視し導入時期について検討する。
分別の徹底とリサイクルの推進	②ごみの減量化、資源化を誘導するため、事業系ごみ処理手数料の見直しを検討します。	【ごみ政策課】引き続き社会経済情勢を注視し導入時期について検討する。	【ごみ政策課】導入時期の検討を実施した結果、社会経済情勢を理由として引き続き手数料の見直しは見送ることとした。	【ごみ政策課】見直しに向けた具体的な進展には至らなかった。	【ごみ政策課】引き続き社会経済情勢を注視し導入時期について検討する。
	(1)生活系ごみのリサイクルの推進				
	①古着・草枝類など新たな分別収集品目の拡大について調査検討します。	【ごみ政策課】イベント回収を引き続き実施するほか、定期的に回収できる他ルートの調査検討を行う。 分別収集品目の拡大を検討し、より多くのごみの資源化を目指す。	【ごみ政策課】民間企業と連携し、古着・古本紙のイベント回収を実施した。 ・R7.11.22実施分 古着：1,300kg、古紙：960kg ・R8.3.14実施分 古着：1,000kg、古紙：630kg	【ごみ政策課】資源化を進めることができた一方、定期的に回収できる新たなルートの確立には至らなかったことから、今後の取組に課題が残った。	【ごみ政策課】イベント回収を引き続き実施するほか、定期的に回収できる他ルートの調査検討を行う。 分別収集品目の拡大を検討し、より多くのごみの資源化を目指す。
		【ごみ政策課】製品プラについて、再度実証事業を行い、設備等改修の要否等を精査する。 乾電池類について、処理業者の選定等、処理ルートの確立を目指す。	【ごみ政策課】製品プラは実証事業を南向台地区を対象に実施。組成分析及びプラ製品の判別調査を実施。また、使用済み乾電池を安全かつ適切に処分するための処分ルートを確認し、環境負荷の低減および廃棄物管理の適正化を図った。	【ごみ政策課】製品プラは実証事業を実施し、組成分析や判別調査を行うなど回収に向けた課題整理を進め、乾電池類についても処理ルートを確立して適正処理につなげることができたことから、計画した取組を概ね実施できた。	【ごみ政策課】製品プラ資源化の導入に向け、処理ルートごとの費用比較を行うとともに、事業実施に向けた課題整理を行う。 乾電池について、適正処理体制を維持しながら、処分に係る費用の削減に向けて運用方法や委託内容の見直しを検討する。
	②広報紙やSNS等を活用して、分別品目・排出方法等の広報・周知に努めます。	【ごみ政策課】SNS等を活用し、ごみ分別・減量に関する情報を定期的に配信する。 また、更なる情報発信の手段拡充を検討する。	【ごみ政策課】転入者等にごみ分別アプリ「さんあ〜る」のチラシを、グリーンガイドブック、分別のチラシを配布し、分別ルールなどの周知を行った。 また、Instagramを活用し、ごみの分別・減量に繋がる発信を行った。	【ごみ政策課】転入者等への「さんあ〜る」や分別チラシの配布に加え、Instagramを活用したごみの分別・減量に関する情報発信を行い、計画した取組を概ね実施できたことから、概ね順調に進捗した。	【ごみ政策課】さまざまな広報媒体を活用し、ごみ分別・減量に関する情報を定期的に配信する。 対象にあった情報発信の手段を検討する。
	③ごみ分別無料アプリ「さんあ〜る」の更なる普及と、お知らせ機能を活用した広報活動を積極的にを行います。	【ごみ政策課】引き続き、市政だよりやSNS等を活用し周知啓発を行い、引き続き検索項目を追加し分別辞典の拡充を図り利便性の向上に努める。	【ごみ政策課】転入者等へごみ分別無料アプリ「さんあ〜る」のチラシを配布したほか、R8年度のさんあ〜るへの新機能追加に向け、予算確保をした。 R8さんあ〜るダウンロード数:8,533件	【ごみ政策課】転入者等への「さんあ〜る」の周知や利用促進を行うとともに、R8年度の新機能追加に向けた予算を確保するなど、計画に沿って取組を進めることができた。	【ごみ政策課】さんあ〜るに新機能を追加する。引き続きさんあ〜るの周知啓発と利便性の向上に努める。
	④スーパーマーケット等での資源物の店頭回収利用促進のため、事業者と連携し、広報・周知に努めます。	【ごみ政策課】引き続き、市HPやX等のSNS、さんあ〜るなどで実施店舗等を広げる。 店頭回収を実施している店舗の情報を集め、市HPに追加掲載し、市民への利用促進を図る。	【ごみ政策課】市HPで実施店舗を掲載したほか、市政出前講座等において、民間企業の取組として紹介し、利用促進を図った。 ・店頭回収実施店舗数：31店舗（令和8年3月末現在）	【ごみ政策課】市HPへの実施店舗の掲載や市政出前講座等での周知を継続するとともに、店頭回収実施店舗数については31店舗で前年度と同等であったことから、今後も実施店舗の情報収集や市HPへの追加掲載等を進め、さらなる利用促進につなげていく必要がある。	【ごみ政策課】引き続き、市HPやX等のSNS、さんあ〜るなどで実施店舗等を広げる。 店頭回収を実施している店舗の情報を集め、市HPに追加掲載し、市民への利用促進を図る。
	⑤集団資源回収実施団体に対する回収量に応じた報奨金交付制度を継続するとともに、更なる広報等により登録団体増加に努めます。	【ごみ政策課】引き続き、集団資源回収報奨金を交付する。 市HPや市政だよりを用いた広報だけでなく、さんあ〜るやSNS等を利用して広報することで、登録団体数及び回収量の増加を目指す。	【ごみ政策課】市政だよりを用いて広報した。 令和7年度登録団体数：186団体（令和6年度登録団体数：197団体） 回収量：959t ・情報発信（市政だより広報：1回）	【ごみ政策課】市政だよりによる広報や集団資源回収を継続して実施したものの、登録団体数や回収量が前年度より減少したこと、計画した取組は実施できたが、十分な成果には至らなかった。	【ごみ政策課】引き続き、集団資源回収報奨金を交付する。 市HPや市政だよりを用いた広報だけでなく、さんあ〜るやSNS等を利用して広報することで、登録団体数及び回収量の増加を目指す。
	⑥グリーン購入運動を推進します。	【全部署】【環境政策課】引き続き、環境負荷ができるだけ小さい製品を、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入するグリーン購入運動を、市が率先して推進する。また、市民・事業者へ啓発するため環境ポータルサイト等で広報を行う。	【全部署】【環境政策課】グリーン購入率：89.9%（R6）	【全部署】【環境政策課】グリーン購入率は年々上昇しており、取組の成果が着実に現れている。今後も、目標達成に向けてグリーン購入の徹底及び継続的な取組を進める必要がある。	【全部署】【環境政策課】引き続き、環境負荷ができるだけ小さい製品を、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入するグリーン購入運動を、市が率先して推進する。また、市民・事業者へ啓発するため環境ポータルサイト等で広報を行う。
	⑦生ごみ処理容器購入費助成を継続するとともに、生ごみ処理容器販売店舗で助成制度の広報を行うなど、普及啓発に努めます。	【ごみ政策課】引き続き、生ごみ処理容器購入費助成を実施するとともに、市HPやSNS等を活用し、広報を実施する。 また、要綱の助成対象に市税等の滞納者を除く項目を記載する。	【ごみ政策課】年間を通して、生ごみ処理容器購入費助成事業の対象として受付を行ったほか、団体申請ができるよう要綱を改正した。 また、市HPやSNS等を活用し、広報を実施した。 生ごみ処理容器助成：370件	【ごみ政策課】年間を通じた助成受付や団体申請への対応、市HP・SNS等による広報を実施し、助成件数も前年度から大幅に増加したことから、計画を上回って取り組むことができた。	【ごみ政策課】引き続き、生ごみ処理容器購入費助成を実施するとともに、市HPやSNS等を活用し、広報を実施する。

【別紙1】 令和7年度福島市一般廃棄物処理基本計画の進行管理について

基本施策	具体的施策	実施計画 令和7年度	実施結果 令和7年度	実施結果 評価 令和7年度	実施計画 令和8年度
分別の徹底とリサイクルの推進	⑧ 初心者でも挑戦しやすいダンボールコンポスト等の普及啓発に努めます。	【ごみ政策課】 引き続き、生ごみ処理容器購入費助成事業の対象として受付を実施する。	【ごみ政策課】 年間を通して、生ごみ処理容器購入費助成事業の対象として受付を行ったほか、団体申請ができるよう要綱を改正した。また、市HPやSNS等を活用し、広報を実施した。 生ごみ処理容器助成：370件	【ごみ政策課】 団体申請への対応や市HP・SNS等による広報を実施し、計画に沿った取組を着実に実施することができ、順調に進捗した。	【ごみ政策課】 引き続き、生ごみ処理容器購入費助成事業の対象として受付を実施する。
	⑨ 紙類の更なる資源化を推進するため、新たに「雑がみ」の分別収集を行います。	【ごみ政策課】 引き続き、雑がみ収集を継続する。	【ごみ政策課】 雑がみ回収実績：446.02t (前年度比31.69t増)	【ごみ政策課】 雑がみ収集を継続して実施し、回収量も前年度の414.33tから446.02tへ増加したことから、計画した取組を着実に推進することができ、順調に進捗している。	【ごみ政策課】 引き続き、雑がみ収集を継続する。
	⑩ 可燃ごみとして出されている紙類のうち、約4割がリサイクル可能な紙類であることから、引き続き分別徹底するよう広報に努めます。	【ごみ政策課】 引き続き、出前講座、市HPやX等のSNS、さんあ～等による広報を実施する。	【ごみ政策課】 出前講座による広報を実施した。 ・情報発信 (市政出前講座：57回(ごみの分別とリサイクル)※小学校出前講座7回含む)	【ごみ政策課】 市政出前講座を実施し、講座回数も前年度から大幅に増加したことから、今後もSNSや市HP等を活用し、継続して周知を図る。	【ごみ政策課】 引き続き、出前講座、市HPやX等のSNS、さんあ～等による広報を実施する。
	⑪ プラスチック類の分別徹底を図るため、汚れの落ちないものを除いて、♻️マークのあるものは「ペットボトル」として出す♻️マークのあるものは「プラスチック製容器包装」として出すなど具体的な分別方法について広報します。	【ごみ政策課】 引き続き、出前講座、市HPやX、Instagram等のSNS、さんあ～などによる広報を実施する。	【ごみ政策課】 市政出前講座で分別に関する情報の発信を行った。 ・ペットボトル：850.67t(前年度比20.99t増) ・プラ製容器包装：2199.79t(前年度比241.49t増) ・情報発信 (市政出前講座：57回(ごみの分別とリサイクル)※小学校出前講座7回含む)	【ごみ政策課】 市政出前講座を中心に分別に関する啓発を実施し、講座回数も前年度から大幅に増加した。また、ペットボトル・プラ製容器包装の回収量も増加し順調に進捗した。	【ごみ政策課】 引き続き、出前講座、市HPやX、Instagram等のSNS、さんあ～などによる広報を実施する。
	⑫ 製品プラスチック(♻️マークのないプラスチック素材だけでできているかたいプラスチック製品)の資源化に向け調査検討します。	【ごみ減量推進課】 引き続き実証事業を実施し、製品プラの資源化に向けた精査を行う。	【ごみ政策課】 製品プラ一括回収実証事業を南向台地区を対象に実施。組成分析及びプラ製品の判別調査を実施し、排出量見込と導入課題について検討を行った。	【ごみ政策課】 南向台地区を対象に実証事業を実施し、組成分析や排出量見込、導入課題の整理を行うことができたことから、概ね計画どおり取り組むことができた。	【ごみ政策課】 製品プラ資源化の導入に向け、実証事業で得られた排出量推計等を活用し、処理ルートごとの費用比較を行うとともに、事業実施に向けた課題整理を行う。
	⑬ 家庭から出る剪定枝等を粉砕し、たい肥の原材料や雑草防止剤等として使用する「家庭用剪定枝粉砕機」の購入費補助または貸与等について調査検討します。	【ごみ減量推進課】 市単独事業として貸与事業を継続するとともに、家庭から出る剪定枝の減量・資源化に向けて、より効果的な事業を検討する。	【ごみ政策課】 実施期間：4月1日～3月31日 貸出件数：62件 稼働日数：138日 処 理 量：3,246kg	【ごみ政策課】 貸与事業を継続して実施し、貸出件数・稼働日数・処理量はいずれも前年度を上回ったことから、順調に取り組むことができた。一方で、より効果的な事業の検討に至らなかったことから、引き続き情報収集等を行いながら検討を進めていく。	【ごみ政策課】 市単独事業として貸与事業を継続するとともに、家庭から出る剪定枝の減量・資源化に向けて、より効果的な事業を検討する。
	⑭ 使用済小型家電リサイクルの広報に努め、イベント回収等を積極的に行います。	【ごみ政策課】 引き続き、市HPやX等のSNS、さんあ～などによる広報を実施し、イベント回収を年2回程度開催する。また、新たな回収ルートについて検討し、市民の利便性向上に努める。	【ごみ政策課】 通常の小型家電回収ボックスの回収に加え、2回のイベント回収を実施した。 ＜通年回収＞ ・49,438kg ＜イベント回収＞ ・R7.11.22実施分：4,132kg ・R8.3.15実施分：3,234kg ※乾電池除く	【ごみ政策課】 通常回収に加え、計画どおり年2回のイベント回収を実施し、通年回収量も前年度から大幅に増加したことから、順調に進捗している。	【ごみ政策課】 引き続き、市HPやX等のSNS、さんあ～などによる広報を実施し、イベント回収を年2回程度開催する。また、新たな回収ルートについて検討し、市民の利便性向上に努める。
	(2) 事業系ごみのリサイクルの推進				
	① 事業者のごみ排出ルールの広報・周知に努めます。	【ごみ政策課】 引き続き啓発事業に取り組む。	【ごみ政策課】 事業所から排出されたごみの搬入物検査の結果を、引き続き市HPで広報した。 また、保健所主催の食品営業許可継続講習会に参加した事業者への対面による説明や、商工会議所会報誌への掲載、不法投棄ごみへの警告チラシの貼付など、あらゆる機会を捉えて啓発を行った。	【ごみ政策課】 様々な機会を活用して事業者への啓発を実施でき、概ね計画どおり取り組むことができた。	【ごみ政策課】 引き続き啓発事業に取り組む。
	② 資源化可能な紙類等の分別排出を推進します。	【ごみ政策課】 市の取組を継続するとともに、事業系紙類等の分別排出について、他市や市内事業所の取組状況を調査し、有効な減量策についてヒアリングを実施する。	【ごみ政策課】 事業者のごみ排出ルールの広報・周知に努めるとともに、市役所が一事業者として率先した取組を示すため、市出先機関から排出される紙類の分別を徹底し、資源化可能なものは古紙問屋へ直接搬入する等資源化を行った。	【ごみ政策課】 概ね計画どおり取り組むことができた。一方で、事業者の取組状況の把握や、さらなる減量・資源化策の検討については、引き続き取り組む必要がある。	【ごみ政策課】 市の取組を継続するとともに、事業系紙類等の分別排出について、他市や市内事業所の取組状況を調査し、有効な減量策についてヒアリングを実施する。

【別紙1】 令和7年度福島市一般廃棄物処理基本計画の進行管理について

基本施策	具体的施策	実施計画 令和7年度	実施結果 令和7年度	実施結果 評価 令和7年度	実施計画 令和8年度
分別の徹底とリサイクルの推進	③ 資源化可能な品目の拡充に向け調査します。	【ごみ政策課】 事業系一般廃棄物の組成分析の結果、紙類が約半数を占めることから、紙類の分別、資源化について調査を行う。	【ごみ政策課】 搬入物検査の結果をもとに、確認された排出事業者によりサイクルの現状を確認したほか、生ごみや草枝類等の資源化について情報収集を行った。	【ごみ政策課】 搬入物検査や資源化に関する情報収集を計画どおり実施できた一方、紙類の分別・資源化に向けた具体的な取組には至らず、今後の課題が残った。	【ごみ政策課】 事業系一般廃棄物の組成分析の結果、紙類が約半数を占めることから、紙類の分別、資源化について調査を行う。
	④ 市が率先して紙類等のリサイクルに取り組み、事業者への紙類の資源化の啓発に努めます。	【ごみ政策課】 市出先機関から排出されるシュレッダーごみの資源化に向けた制度構築を進めていく。	【ごみ政策課】 市出先機関から排出される紙類の分別を徹底し、古紙問屋への直接搬入を実施した。 ・約29tを直接資源化シュレッダーごみについては課題も多く、資源化に至らなかった。	【ごみ政策課】 市出先機関の紙類を分別し、約29tを直接資源化した。一方、6年度から検討を進めていたシュレッダーごみは、7年度も資源化に至らず、課題が残った。	【ごみ政策課】 市出先機関から排出されるシュレッダーごみの資源化に向けた制度構築を進めていく。
	⑤ 学校・公園・市道等から出る草枝類（剪定枝・落葉・雑草等）をチップ化、たい肥化し再利用するなど、地域で資源が循環する仕組み構築に向け調査検討します。	【ごみ政策課】 タヒロンの事業にとって代わる落ち葉や草枝類の地域内での資源化事業に向けて民間事業者への視察や協議を進める。	【ごみ政策課】 令和6年度をもって事業終了した。		【ごみ政策課】 タヒロンの事業にとって代わる落ち葉や草枝類の資源化事業を検討する。
安定的・効率的な適正処理の推進	① (1) ごみの適正排出と安全で効率的な収集運搬の推進 ごみの適正な排出方法について、広報紙・市HP等で適正なごみ排出方法を広報するとともに、不適正な排出については指導を強化します。				
	ア、ごみ出し3原則（収集日の朝8時30分までに、決められたごみ集積所に、きちんと分別して）を徹底します。	【ごみ政策課】 引き続き、市HPやX等のSNS、さんあ〜るなどで広報を実施するほか、クリーンガイドブックや市政出前講座を活用し周知を図る。	【ごみ政策課】 市HPでの周知や市政出前講座を活用した広報を実施した。 ・情報発信 （市政出前講座：57回（ごみの分別とリサイクル）※小学校出前講座7回含む）	【ごみ政策課】 市HPや市政出前講座を活用した周知を実施し、57回の講座を通じてごみの分別とリサイクルについて情報発信することができたことから、順調に進捗した。	【ごみ政策課】 引き続き、市HPやX等のSNS、さんあ〜るなどで広報を実施するほか、クリーンガイドブックや市政出前講座を活用し周知を図る。
	イ、分別せずに排出されたごみは集積所に残置するなどの指導を強化します。	【ごみ政策課】 引き続き、違反ごみの残置を徹底するとともに、特に悪質な違反ごみに対する開封調査を行い、直接指導等を行い改善を図る。	【ごみ政策課】 警告シールを貼付したごみの開封調査を実施。 ※警告シール貼付>185件 のうち ※自主撤去された件数>123件 ※開封調査実施件数>62件 さらに、排出者が判明した15件について、指導を実施した。	【ごみ政策課】 開封調査を実施し、判明した排出者に指導を行うなど、違反ごみへの対応を着実に実施したことから、概ね順調に進捗している。今後も悪質な違反ごみへの対応を強化する。	【ごみ政策課】 引き続き、違反ごみの残置を徹底するとともに、特に悪質な違反ごみに対する開封調査を行い、直接指導等を行い改善を図る。
	ウ、不適正排出防止のため、早朝・夜間パトロール等を行います。	【ごみ政策課】 引き続き、パトロールを実施し、不適正排出の現状把握及び資源物持ち去り防止の啓発を行う。	【ごみ政策課】 指導係によりパトロールを実施し、集積所の管理を徹底した。 令和7年度実施内容 2 班体制 早朝パトロール：26回 夜間パトロール：0回 ※夜間は実施していない。	【ごみ政策課】 集積所の適正な管理を継続して実施し、集積所の適正な管理と不適正排出の防止に取り組むことができたことから、概ね順調に進捗している。	【ごみ政策課】 引き続き、パトロールを実施し、不適正排出の現状把握及び資源物持ち去り防止の啓発を行う。
	② ごみ集積所の適正な維持管理を推進します。				
	ア、ごみ散乱防止ネット購入費助成制度やごみ集積所設置費助成制度を継続します。	【ごみ政策課】 引き続き、ごみ散乱防止ネット・折り畳み式ネットボックス購入費助成、ごみ集積所設置費助成を実施し、カラス対策等による環境美化を推進する。 ・ごみ散乱防止ネット購入費助成 <予算額496,800円> 276件想定 ・折り畳み式ネットボックス助成 <予算額120,000円> 6件想定 ・ごみ集積所設置費助成 <予算額200,000円> 4件想定	【ごみ政策課】 ・ごみ散乱防止ネット購入費助成 <助成額437,600円> 144件（令和6年度109件） ・折り畳み式ネットボックス助成 <助成額66,900円> 4件（令和6年度3件） ・ごみ集積所設置費助成 <助成額91,900円> 3件（令和6年度3件）	【ごみ政策課】 ごみ散乱防止ネット等の助成を実施し、前年度を上回る実績となった一方、カラス被害に効果のある折り畳み式ネットボックスの助成件数が伸び悩んでいることから、一定の成果は得られたものの利用促進に課題が残った。	【ごみ政策課】 引き続き、ごみ散乱防止ネット及びごみ集積所設置費に対する助成を実施するとともに、カラス等によるごみの散乱防止をより一層推進するため、折り畳み式ネットボックスの助成を拡充する（補助率1/2から2/3、補助上限額2万円から3万円）。これらの取組を通じて、ごみ集積所の適正な管理を支援し、地域の環境美化及び良好な生活環境の確保を図る。 ・ごみ散乱防止ネット購入費助成 <予算額464,000円> 232件想定 ・折り畳み式ネットボックス助成 <予算額536,000円> 約18件想定 ・ごみ集積所設置費助成 <予算額200,000円> 4件想定
	イ、ごみ集積所の管理が行き届いている町内会等を市HP等で紹介するなどにより、普及啓発に努めます。	【ごみ政策課】 市政だよりや市HPを活用したごみ集積所管理の紹介などについて実施する。	【ごみ政策課】 希望する町内会等には、市政出前講座にて各地域で実践しているごみ集積所の管理方法を紹介した。 また、ごみBOX等の設置に対する助成を行うとともに、希望する町内会等には、既に改善に取り組んでいる町内会の事例を紹介するなど、地域におけるごみ集積所の環境改善を支援した。	【ごみ政策課】 市政だよりや市ホームページ等によるごみ集積所の管理方法の周知については、十分な情報発信には至らなかったものの、市政出前講座等において地域で実践されている管理方法や散乱防止対策の事例を紹介したほか、ごみBOX等の設置に対する助成を行うなど、町内会等によるごみ集積所の適正管理を支援した。	【ごみ政策課】 市政だよりや市ホームページ等を活用し、ごみ集積所の適正な管理方法や散乱防止対策等を紹介するとともに、ごみBOX等の設置に対する助成を拡充することで、地域におけるごみ集積所の適正管理を支援し、良好な生活環境の確保を図る。

【別紙1】 令和7年度福島市一般廃棄物処理基本計画の進行管理について

基本施策	具体的施策	実施計画 令和7年度	実施結果 令和7年度	実施結果 評価 令和7年度	実施計画 令和8年度
安定的・効率的な適正処理の推進	ウ、ICTを活用したごみ集積所管理システムについて調査検討します。	【ごみ政策課】 引き続き、検討を行い、本市に適した運用方法の調査・研究を行い、実証事業を含め予算化に努める。	【ごみ政策課】 R8年度のふれあい訪問収集へのWOOMSの導入に向けて予算要求をし、財源を確保した。	【ごみ政策課】 7年度は導入に向けた具体的な進展があり、計画に沿って順調に進捗している。R8年度の導入に向け、引き続き取組を進める。	【ごみ政策課】 R8年11月からの導入に向け、本格的に着手する。
	③ 事業系ごみの適正排出を推進します。				
	ア、事業者に対し、許可業者による収集または直接搬入により適正に処理するよう広報・指導等を実施します。	【ごみ政策課】 引き続き、商工会議所の広報誌や食品営業許可継続講習会で事業者への啓発事業に取り組むほか、条例改正により導入したごみの開封調査を適宜実施し、事業者による不法投棄の防止を図る。	【ごみ政策課】 事業系ごみの集積所排出が不法投棄にあたるとの広報を掲載し、事業者責任での適正処理を啓発した。 ・「所報ふくしま」2026年2月号	【ごみ政策課】 商工会議所の広報誌を活用し、事業系ごみの適正処理について事業者への啓発を行い、事業者責任による適正処理の周知を促進しており、順調に進捗している。	【ごみ政策課】 事業系ごみの適正排出を促すため、ごみ減量に取り組んでいる事業者独自の取組を広く市民に紹介するなど、市の発信力を活かした広報を検討する。 引き続き、食品営業許可継続講習会で事業者へごみの減量化、資源化について周知する。
	イ、中間処理施設での搬入ごみ検査などにより分別を徹底します。	【ごみ減量推進課】 引き続き搬入物検査を実施し、不適物を収集してきた業者に対し、不適物は集積所へ残置することを指導することで、市民へ分別の周知につなげ、適正排出を図る。	【ごみ政策課】 搬入物検査を実施した。 ・R7.7.24実施（家庭系資源にできない燃やすごみ） 検査台数10台 ・R7.10.1実施（家庭系資源にできない埋めるごみ） 検査台数12台 ・R7.10.14実施（家庭系リサイクルできる資源物「プラ」） 検査台数10台 ※検査終了後、3組合へ注意喚起を送付し、不適物が混入している場合は違反ステッカーを貼り、残置する旨を指導した。 【廃棄物対策課】 一般廃棄物収集運搬業許可業者に対する搬入物検査を実施した。 ・R7.6.25実施 検査台数12台	【ごみ政策課】 搬入物検査を計画どおり実施し、不適物が混入した場合の残置等について指導を行い、市民へ分別の周知につなげ、適正排出を図った。	【ごみ政策課】 引き続き搬入物検査を実施し、不適物を収集してきた業者に対し、不適物は集積所へ残置することを指導することで、市民へ分別の周知につなげ、適正排出を図る。
	ウ、一般廃棄物収集運搬業許可業者については、本市の区域内におけるごみ排出量の推移、現行の許可業者の収集運搬能力や業務実績等を考慮したうえで、市が必要と認めた場合に許可するものとします。	【ごみ政策課】 一般廃棄物処理に支障が生じる場合で、新規許可が必要と判断される場合は計画の見直しを実施する。 【廃棄物対策課】 申請があった場合は、法の基準を満たしているか審査し、許可の適否を決定する。	【ごみ政策課】 計画の見直しはなかった。 【廃棄物対策課】 申請なし。	【ごみ政策課】 申請や計画の見直しが必要となる事案はなかったことから、計画に沿って順調に進捗している。	【ごみ政策課】 一般廃棄物処理に支障が生じる場合で、新規許可が必要と判断される場合は計画の見直しを実施する。 【廃棄物対策課】 申請があった場合は、法の基準を満たしているか審査し、許可の適否を決定する。
	④ 不法投棄監視員による地区内巡視等を継続し、地域と連携し不法投棄監視と撤去の取り組み拡大を目指す。	【廃棄物対策課】 引き続き不法投棄監視員による地区内の巡視等を継続するとともに残存する不法投棄物の撤去指導を継続する。	【廃棄物対策課】 不法投棄監視員による巡視等を実施し、57件の不法投棄物を発見し、投棄の行為者ならびに土地の所有者等に不法投棄物の撤去の指導を行った。クマの出没が頻発したため、一部の地区でパトロールを一時見合わせた。	【廃棄物対策課】 クマの出没により一部の地域においてパトロールを一時見合わせたが、おおむね計画どおりに実施し、不法投棄物の撤去指導につながった。	【廃棄物対策課】 不法投棄監視員を廃止し、令和8年度より、業務委託により複数人で監視パトロールを実施する。また、残存する不法投棄物の撤去指導を継続する。
	⑤ 適正処理困難物の排出状況（種類、排出量、排出先、処理ルート等）把握に努め、関係団体と連携し適正処理を推進します。	【ごみ政策課】 処理ルートの確立に向けて、処理業者選定等を進める。	【ごみ政策課】 処理業者を選定し、適正な処理ルートを確認。保管していた充電式電池の引渡しを順次開始。 回収量（充電式電池）：3,942kg	【ごみ政策課】 処理体制の確立まで進展、回収量も安定しており、計画どおり順調に進捗している。	【ごみ政策課】 適正処理を維持しつつ、より費用対効果の高い処理ルートを確認する。
	⑥ 在宅治療で使用した医療廃棄物のうち、使用済み注射器や注射針などの感染性を有する恐れのあるものは、ごみ集積所ではなく、医療機関・薬局へ返却するよう市民へ周知し、不適正排出防止に努めます。	【ごみ政策課】 引き続き、広報を実施する。 また、福島市医師会、福島薬剤師会と連携し、周知啓発用のチラシ作成を行い、不適正排出の防止に努める。	【ごみ政策課】 市政だよりや市HP、SNS等での広報を実施した。また、注射針等感染性廃棄物の医療機関・薬局等での回収に関する広報について福島市医師会、福島薬剤師会と協議を行い、広報を開始した。	【ごみ政策課】 計画に沿って広報・周知を実施しており、不適正排出の防止に向けて順調に進捗している。	【ごみ政策課】 引き続き、広報を実施する。 また、福島市医師会、福島薬剤師会と連携し、周知啓発用のチラシ作成を行い、不適正排出の防止に努める。
	⑦ 収集品目を拡大した場合には、必要な車両等の条件が変わることも考えられることから、収集ルートの見直しなど、効率的な収集体制構築に努めます。	【ごみ政策課】 効率的な収集ルート及び管理体制に適したシステム構築を模索し、実現可能性に向けた検討を行う。	【ごみ政策課】 R8年度のふれあい訪問収集へのWOOMSの導入に向けて予算要求し、財源を確保した。	【ごみ政策課】 7年度は具体的な導入に向けて進展したことから、順調に進捗している。	【ごみ政策課】 R8年11月からの導入に向け、本格的に着手する。
	⑧ ICTを活用した収集状況確認システム等の調査検討を行い、収集運搬業務の効率化を図ります。	【ごみ政策課】 効率的な収集ルート及び管理体制に適したシステム構築を模索し、実現可能性に向けた検討を行う。	【ごみ政策課】 R8年度の導入に向けて予算要求をし、財源を確保した。	【ごみ政策課】 ICTを活用した収集状況確認システムの導入に向けて予算を確保し、具体的な進展があったことから、概ね順調に進捗している。	【ごみ政策課】 R8年11月からの導入に向け、本格的に着手する。
	⑨ より効率的な粗大ごみ申込システムについて調査検討します。	【あらかわクリーンセンター】 本市に合った申込手法について情報収集していく。	【あらかわクリーンセンター】 「LoGo フォーム」による仮受付を実施（R7実績2,424件）。	【あらかわクリーンセンター】 令和6年度12月より「LoGo フォーム」による仮受付を実施しているが、繁忙期に入っていく1～3月期を比較すると、6年度548件に対し7年度754件と増加（206件増）しており、順調に進捗している。8年度中に精査し、本市に合った申込手法の選択肢として継続するかどうか検討を進めたい。	【あらかわクリーンセンター】 本市に合った申込手法について精査、情報収集していく。

【別紙1】 令和7年度福島市一般廃棄物処理基本計画の進行管理について

基本施策	具体的施策	実施計画 令和7年度	実施結果 令和7年度	実施結果 評価 令和7年度	実施計画 令和8年度
安定的・効率的な適正処理の推進	⑩ ごみの直接搬入の事前予約制等を検討します。	【あぶくまクリーンセンター】 自己搬入車両で持ち込まれるごみの量を調査する 【あらかわクリーンセンター】 自己搬入車両で持ち込まれている時間帯やごみの種類・量を調査する。	【あぶくまクリーンセンター】自己搬入車両で持ち込まれるごみの量を調査した。 持込量(一般・事業): 7, 171. 47 t 【あらかわクリーンセンター】自己搬入車両で持ち込まれるごみの量を調査した。 持込量(一般・事業): 25, 622 t	【あぶくまクリーンセンター】 調査結果をもとに、事前予約制の検討を進めることができた。 【あらかわクリーンセンター】 市内のごみ排出総量減少に伴い、毎年減少傾向だが、施設の混雑状況踏まえ引き続き調査を進めていく。	【あぶくまクリーンセンター】自己搬入車両で持ち込まれるごみの量を調査する 【あらかわクリーンセンター】自己搬入車両で持ち込まれている時間帯やごみの種類・量を調査する。
	⑪ ごみを集積所に出すことが困難な一定の条件を満たす高齢者または障がい者の世帯に対し、ごみを戸別に収集し、併せて安否確認をすることによって、生活支援と安全安心の環境を確保するふれあい訪問収集を継続します。	【ごみ政策課】 継続してふれあい訪問収集を実施する。	【ごみ政策課】 ふれあい訪問収集対象世帯 令和7年度末 1, 257世帯	【ごみ政策課】 前年比で対象世帯は増加。計画どおり事業を継続するとともに、対象世帯の増加にも対応できており、順調に進捗している。	【ごみ政策課】 継続してふれあい訪問収集を実施する。
	(2) 安定的・効率的な適正処分と環境に配慮した施設整備の推進	【あぶくまクリーンセンター】 あぶくまクリーンセンター焼却工場の再整備による新施設稼働まで適正な維持管理を継続する。 【あらかわクリーンセンター】 各施設において適正な維持管理を実施。 あらかわクリーンセンターにおいては、工場稼働開始からこれまでの運営状況における課題や問題点について洗い出す。	【あぶくまクリーンセンター】施設設備を正常に稼働させるため、適切な維持管理を実施した ・焼却炉の年次点検: 1 回/年。 【あらかわクリーンセンター】これまでの運営状況等について、当課、環境施設整備課、運営業者の3者間で定期的に打合せを開催し、課題や問題点の洗い出しをし、基幹改良工事メニューについて協議した。	【あぶくまクリーンセンター】 適切な維持管理を実施した。 【あらかわクリーンセンター】 毎月定例会を実施し、運営状況を確認した。また、基幹改良工事に向けた定例会を別途開催し、整備内容の協議を行った。新あぶくまクリーンセンター計量システムとの共通化や卒F I T後の売電方法など、課題が山積しているため、引き続き協議を進めていく。	【あぶくまクリーンセンター】あぶくまクリーンセンター焼却工場の再整備による新施設稼働まで適正な維持管理を継続する。 【あらかわクリーンセンター】 各施設において適正な維持管理を実施。 前年に引き続き、工場稼働開始からこれまでの運営状況を振り返り、次期長期包括管理運営が効率的な運営となるよう3者間で協議を進める。
	① 焼却施設、資源化施設など中間処理施設の効率的な運営に努め、適正な維持管理により長寿命化を図ります。	【環境施設整備課】 あぶくまクリーンセンター焼却工場については、令和9年度の施設完成を目指し、令和6年度から引き続き建設工事を実施する。	【環境施設整備課】令和6年度から引き続き建設工事を実施した。	【環境施設整備課】 計画通り建設工事を実施した。	【環境施設整備課】 令和9年度の施設完成を目指し、引き続き建設工事を実施する。
	② 施設整備にあたっては、過大とならない施設規模の検討や、効率的な設備選定を行い、費用対効果の高い施設とし、建設費及び運営管理費を含めた全体的な費用削減を図るため、P F I方式等の導入を検討します。	【環境施設整備課】 令和5年度に目標達成	【環境施設整備課】 令和5年度に目標達成	-	【環境施設整備課】 令和5年度に目標達成
	④ 一般廃棄物処分業許可業者については、本市の区域内におけるごみ排出量の推移や適正処理困難物等の排出状況、現行の許可業者の処分能力や業務実績を考慮したうえで、市が必要と認めた場合に許可するものとする。	【ごみ減量推進課】 一般廃棄物処理に支障が生じる場合で、新規許可が必要と判断される場合は計画の見直しを実施する。 【廃棄物対策課】 申請があった場合は、法の基準を満たしているか審査し、許可の適否を決定する。	【ごみ政策課】 計画の見直しはなかった。 【廃棄物対策課】申請なし。	【ごみ政策課】 申請や計画の見直しが必要となる事案はなかったことから、計画に沿って順調に進捗している。 【廃棄物対策課】 申請なし。	【ごみ政策課】 一般廃棄物処理に支障が生じる場合で、新規許可が必要と判断される場合は計画の見直しを実施する。 【廃棄物対策課】申請があった場合は、法の基準を満たしているか審査し、許可の適否を決定する。
	⑤ 最終処分場からの浸出水を排水基準等に適合し放流できるよう、浸出水処理施設の維持管理を徹底します。	【あぶくまクリーンセンター】 施設の適切な維持管理を継続する。	【あぶくまクリーンセンター】 施設の適切な維持管理と水質検査を実施した。 ・浸出水・放流水の水質検査: 1 2回/年	【あぶくまクリーンセンター】 計画通り適正な維持管理及び水質検査を実施した。	【あぶくまクリーンセンター】 施設の適切な維持管理を継続する。
	⑥ 埋立廃棄物の搬入管理を徹底し、搬入禁止廃棄物の混入を防止します。	【あぶくまクリーンセンター】 搬入管理を徹底し、搬入禁止物の防止を継続する。	【あぶくまクリーンセンター】搬入禁止物を防止するため、搬入管理を徹底した。	【あぶくまクリーンセンター】 適切な搬入管理を実施した。	【あぶくまクリーンセンター】 搬入管理を徹底し、搬入禁止物の防止を継続する。
	⑦ ごみの排出抑制や中間処理施設での減容化、資源化を推進し、最終処分場の延命化を図ります。	【ごみ政策課】 ごみの排出抑制に向けた減量施策を引き続き実施する。 特に生活系可燃ごみの約4割を占める「生ごみ」に着目し、キエーロ普及をはじめとした「生ごみゼロチャレンジ!」事業を実施する。 【あぶくまクリーンセンター】 ごみ焼却による廃棄物の減量化と資源化工場によるプラスチック製容器包装の資源化を継続する。 【あらかわクリーンセンター】 資源化工場における破碎、選別、圧縮等の資源化の継続。 溶融スラグの資源化も引き続き実施する。	【ごみ政策課】 ごみの排出抑制に向けた減量施策を実施した。 【あぶくまクリーンセンター】焼却工場でごみの焼却、資源化工場でプラスチック製容器包装の資源化を実施した。 ・廃棄物焼却量: 23, 369. 03 t ・容器プラ製作用量: 1, 456. 44 t 【あらかわクリーンセンター】焼却工場でごみの焼却、資源化工場で金属、缶、ビン、ペットボトルを破碎、選別、圧縮等の処理により資源化した。紙類も資源物として処理ルートに乗せた。溶融スラグの一部資源化を実施した。 ・廃棄物焼却量: 54, 987 t ・資源化量: 5, 760 t ・溶融スラグ: 2, 131 t	【ごみ政策課】 6年度と比較して廃棄物焼却量は減少した一方、資源化量も減少しており、今後も減量・資源化取組の継続が必要である。 【あぶくまクリーンセンター】 計画通り、焼却処理及び資源化処理を適切に実施した。 【あらかわクリーンセンター】 市内のごみ排出総量減少に伴い焼却量、資源化量、溶融スラグ量すべてにおいて減少傾向であることから、引き続きごみの資源化を最大限図っていく。	【ごみ政策課】 ごみの排出抑制に向けた減量施策を引き続き実施する。 特に生活系可燃ごみの約4割を占める「生ごみ」に着目し、キエーロ普及をはじめとした「生ごみゼロチャレンジ!」事業を実施する。 【あぶくまクリーンセンター】 ごみ焼却による廃棄物の減量化と資源化工場によるプラスチック製容器包装の資源化を継続する。 【あらかわクリーンセンター】 資源化工場における破碎、選別、圧縮等の資源化の継続。 溶融スラグの資源化も引き続き実施する。
	⑧ 次期最終処分場建設工事を進め、令和3年度の供用開始を目指します。	【環境施設整備課】 令和4年度に目標達成	【環境施設整備課】 令和4年度に目標達成	-	【環境施設整備課】 令和4年度に目標達成